研究番号：26089　.

聞き取りにくさ（聴覚情報処理障害）の診断のために受診中あるいは受診経験のある患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に対するご協力のお願い）

獨協医科大学埼玉医療センター耳鼻咽喉・頭頸部外科では、上記の病気で受診された方の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはございません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

なお、患者さんが未成年の方の場合は、保護者の方からのお申し出も受け付けます。

【研究課題名】

聴覚情報処理障害患者における聴性誘発反応の階層的特徴と聴覚検査・画像所見・症状との関連に関する後方視的検討

【研究の目的】

聞き取りにくさを訴えて受診される方の中には、通常の聴力検査では異常がみられない方が多くいらっしゃいます。このような方で、耳から脳までのどの部分で聞こえの情報の処理がうまくいっていないのかを調べる方法は、まだ確立していません。この研究では、診療の中で行った「聞こえに対する脳の反応をみる検査」（脳幹の反応、脳のより上の部分の反応、ことばの音に対する大脳の反応をみる検査）の結果を、聴力検査、CT 検査・MRI 検査などの画像検査、症状と照らし合わせて調べ、聞き取りにくさの原因を、耳から脳までの段階ごとに明らかにすることを目的としています。

【対象となる方】

耳鼻咽喉・頭頸部外科にて聞き取りにくさ（聴覚情報処理障害またはその疑い）のため受診し、西暦 2020 年 4 月 1 日から西暦 2026 年 8 月 31 日の間に、聞こえに対する脳の反応をみる検査を受けた方

【使用する検体・診療情報】

使用する診療情報は以下のとおりです。なお、収集したデータは、研究責任者のもと適切に保管・管理致します。

検体：使用しません

カルテ情報：診断名、検査時の年齢、性別、利き手、症状（聞き取りにくい場面など）、発達の経過、合併症、これまでにかかった病気、聴力検査の結果（純音聴力検査、ことばの聞き取りの検査、雑音の中での聞き取りの検査、聴覚情報処理検査、鼓膜・耳の奥の反応の検査）、聞こえに対する脳の反応をみる検査の結果（聴性脳幹反応、聴性中間潜時反応、頭頂部緩反応、ことばの音に対する大脳の反応の検査）、画像検査（CT 検査、MRI 検査）の結果、受けた支援の内容

【研究期間と参加予定人数】

この研究は当院臨床研究倫理審査委員会承認後、病院長許可日 2026 年 10 月 3 日から西暦 2028 年 3 月 31 日まで実施され、40 名の患者さんが対象となっております。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除して使用いたします。収集したデータは、個人が特定できないように通し番号などで付記したのち解析を行います。また、使用したカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【データの保管】

この臨床研究によって得られたデータは、鍵やパスワードなどで保護し、第三者へ漏洩することがないよう厳重保管され、研究の中止あるいは終了後 5 年または最終公表後 3 年のいずれか遅い日まで保管されたのち、適切に廃棄されます。

【結果の公表】

この研究の研究成果は関連する学会で発表し、医学雑誌へ投稿される予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター　耳鼻咽喉・頭頸部外科　　稲吉 亮平（准教授）

【問い合わせ先】

埼玉県越谷市南越谷２－１－５０
獨協医科大学埼玉医療センター　耳鼻咽喉・頭頸部外科　　担当者：稲吉 亮平（准教授）
電話番号：048-965-8681（医局直通）
対応時間：（平日）9 時～17 時

以上

2026 年 9 月 24 日作成